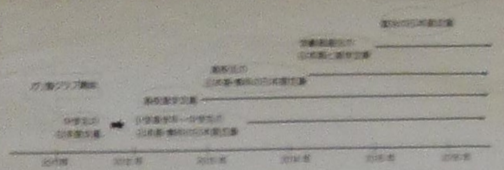
名古屋YWCA ガリ勉クラブ

あいちモリコロ基金助成活動

就労日本語支援 ガリ勉みらいプロジェクト2015

ガリ勉クラブとは

2011年文化庁委託事業として教室開設



在籍生徒数:小学生高学年～高校生まで約60人　スタッフ数:約45人

クラス:①ガリ勉高校部(高校在籍班/高校準備班)　毎週木曜 13:30-15:30

②ガリ勉クラブ　毎週木曜 16:00-18:00

③漢字部・作文部　隔週火曜 16:30-18:30　④家庭教師　随時

実践概要

企画意図

①中学校の職場体験に代えて

②座学で学んだ事を実体験する

③進学先を日本語レベルでなく、将来希望する進路を考えて決められるようになる

④地域や社会と繋がりを持つ

目標

「生きる力」を養い、社会の一員として就労や社会活動に必要な知識や経験を体得させると共に、社会で通用するコミュニケーション力を高めること

対象: 日本語レベル初中級の高校生と学齢超過生15人

国籍: フィリピン、中国、ネパール、パキスタン、インドネシア

実践内容

ボランティア体験

目的:勤労と社会に役立つ人材への第一歩として

内容:「絵本の広場」「子ども広場」「秋のバザー」の3つのイベントの準備や当日の手伝い、片付けなど

生徒の声

楽しかったこと	大変だったこと	他にやってみたいこと
子ども達に絵本を読んだ	緊張したこと	[illegible]
いろいろな人との出会い	特にない	できることなら何でも
[illegible]	お金扱い	中国語を教えたい
子どもと遊んで[illegible]	ない	ケーキ作り

しごとの日本語Ⅰ

目的:働くための知識やルールを学ぶ

内容:中2で来日したペルー人日本語教師から、実体験と絡めた講義の中で、国籍条項や在留資格と仕事について、ビジネスマナー、敬語などを学ぶ

しごとの日本語Ⅱ

目的:プロジェクトのふりかえり

内容:サービスの敬語の応用編を学ぶ。グループごとに職場体験発表を行う

※PC で発表パワーポイントをご覧ください

職場体験

目的:職業観、勤労観を知り、社会の一員としての自覚や責任感の育成と、職場の日本人とのコミュニケーション体験

活動の流れ:お仕事調べ ⇒ 履歴書作成 ⇒ 心がまえ ⇒ 体験 ⇒ お礼状作成 ⇒ 体験発表まとめ ⇒ 体験発表

職場体験 8 回の内容と生徒の声

No.	職場	人数	生徒の声
1	コンビニ	3人	お菓子の袋を棚に並べるのが楽しかった
2	美容院	2人	接客用語が難しく、うまく言えなかった
3	きしめん工場	4人	仕事では挨拶と返事が大切だと知った
4	美容院	2人	ブリーチのやり方を教わった
5	保育園	1人	子どもが好きになった
6	工業大学ものづくりセンター	2人	「わからない」と言わなかったため危ないことがあった
7	労働金庫	5人	銀行員さんのお金の数え方に驚いた
8	卸売市場	4人	せりがあっという間に決まるのに驚いた

※詳細はファイルのワークシートをご覧ください。

職場体験例:きしめん工場 ガリ勉クラブブログより

ハローワーク見学

目的:自分で仕事探しができるようになる

内容:ハローワーク外国人雇用サービスセンターを見学し、求人票の見方を学ぶ

考察

生徒アンケートより

一番勉強になったのは？ ⇒ しごとの日本語

もう一度やりたいのは？ ⇒ 職場体験

ボランティア体験、職場体験で大変だったのは？

⇒説明の言葉が難しかった、言いたいことが言えなかった

目標の達成度

- 仕事の日本語や敬語を実践で学ぶことができた
- 約束を守るなど意識の変化が見られた
- 将来への期待や自己肯定感が向上した
- 地域企業に外国人生活者理解を得ることができた

課題

- 約束やルールをどう守らせたらいいか
- 意欲のない生徒に対する働きかけ
- 教室の先生以外の人の話を理解するのが難しい
- 体験を希望するボランティアや職業とのギャップ

実践の意味と今後の展望

社会と繋がるきっかけや自信となる有意義な活動となった。教科書や教室で学ぶことができない日本語学習としても意味深く、2016 年度は下級生も含めガリ勉クラブ全体として活動を行う予定。

発表者:公益財団法人名古屋YWCA ガリ勉クラブコーディネーター 上村桂恵子